

## JENESYS2018 ASEAN 派遣プログラム第9陣の記録 テーマ：日本語コミュニケーション、日本文化交流 派遣国：東ティモール民主共和国

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、日本の大学生18名が東ティモール民主共和国へ派遣され、派遣国における、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進、及び日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019年2月19日～2月27日の日程で「日本語コミュニケーション・日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、政府関係者、日系企業や現地で活躍する邦人との意見交換、日本のODAサイトや青年海外協力隊員の活動現場等の視察を行い、日本と派遣国との関係、及び日本の国際貢献に関する知見を深めました。そして、学校交流において、同世代の学生との友情を深めるとともに、日本文化の説明、実演を行い、日本の魅力を発信しました。また、学校交流、ホームビジット、過去のJENESYS事業参加者等の現地の人々との交流を通じて、地域の人々と友情を育み、相互理解を深めました。帰国前の報告会では、プログラム中の発見と、プログラム経験を活かしたアクション・プラン（帰国後の活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】 秋田大学6名、北海道教育大学6名、早稲田大学6名

#### 【交流時の日本事情の説明概要】

秋田大学：秋田県の地域概要、特色、特産品、四季

北海道教育大学：北海道の地域概要、特色、特産品、四季

早稲田大学：東京の地域概要、日本伝統とPOP文化、食文化

実演披露：ソーラン節、恋ダンス

### 2. 日程

- 2月19日(火) 【オリエンテーション】 成田国際空港出発、ングラ・ライ国際空港到着(インドネシア)・経由地宿泊
- 2月20日(水) ングラ・ライ国際空港出発  
プレジデンテ・ニコラウ・ロバト国際空港(東ティモール)到着  
【表敬訪問】 東ティモール外務研修所  
【意見交換会及びレセプション】 於：在東ティモール日本国大使公邸(現地邦人、JENESYS同窓生参加)
- 2月21日(木) 【訪問・講義聴講】 JICA 東ティモール事務所  
【JOCV活動視察】 観光ホスピタリティー学校

- 【NGO活動聴講】特定非営利活動法人パルシック (PARCIC)  
 【文化視察】レジスタンス博物館  
 2月22日(金) 【学校交流】ディリ工科大学(DIT)  
 【文化視察】ディリ市(クリストレイ等)  
 2月23日(土) 【ホームビジット】ディリ市  
 【ホストファミリー・大学関係者との懇親会】於：DIT  
 2月24日(日) 【ディリ郊外視察(リキシャ)】マウバラ要塞・アイペロ刑務所跡地、塩田(ウルメラ)、ラウハタビーチ、伝統織物(タイス)マーケット  
 【NGO支援の工場視察】PARCIC関連・ココナッツオイル生産所  
 2月25日(月) 【学校交流】国立東ティモール大学(UNTL)  
 【ワークショップ】  
 2月26日(火) 【成果報告会】、【関係者との歓送会】  
 東ティモール出国(インドネシア経由)  
 2月27日(水) 帰国

### 3. プログラム記録写真

	
<p>2月20日【表敬訪問】 東ティモール外務研修所</p>	<p>2月20日【意見交換会及びレセプション】於：在東ティモール日本国大使公邸</p>
	
<p>2月21日【訪問・講義聴講】 JICA 東ティモール事務所</p>	<p>2月21日【JOCV活動視察】 観光ホスピタリティー学校</p>
	
<p>2月21日【NGO活動聴講】</p>	<p>2月21日【文化視察】</p>

<p>特定非営利活動法人パルシック (PARCIC)</p> 	<p>レジスタンス博物館</p> 
<p>2月22日【学校交流】 ディリ工科大学(DIT)</p>	<p>2月23日【ホームビジット】</p>
	
<p>2月23日【ホストファミリー・大学関係者との懇親会】</p>	<p>2月24日【NGO支援の工場視察】 PARCIC関連・ココナッツオイル生産所</p>
	
<p>2月25日【学校交流】 国立東ティモール大学 (UNTL)</p>	<p>2月25日【ワークショップ】</p>
	
<p>2月26日【成果報告会】【関係者との歓送会】</p>	

#### 4. 参加者の感想(抜粋)

大学生(秋田大学)

東ティモールの暮らしは日本とは異なる事情があることを知りました。家の台所は衛生

面が日本と比べて十分とは言えないものであったり、屋外では靴を履かずに生活していたりしていました。しかし彼らはみな笑顔でした。自分の家族だけでなく近所の人とも一緒に過ごし、きっとよく協力し合っているのだろうと感じました。格差がない理由として、東ティモールの人々の家族愛が第一にあると強く実感しました。

#### 大学生（北海道教育大学）

大使公邸での意見交換会は、大使ご夫妻、現地邦人の方々、JENESYS 同窓生と面会し、現地事情や、各々が行っている活動、また、東ティモールの課題、実際に住んでいて感じることを直接聞くことができ、大変貴重な機会となりました。レジスタンス博物館では、ティモール独立の歴史的背景を知り、ホームビジットでは紛争の経験者から当時の話も聞くことができました。東ティモールでは、輸入品が多いことや教育環境の課題等があることを知りましたが、東ティモールの学生は、学習意欲や目的意識を高く持っていて、家族を大切に、近隣住民との関係が強いこの国は、とても好感の持てる国だと思いました。

#### 大学生（早稲田大学）

現地の方々の話を聞いて、東ティモールは、国内で基幹産業を確立できていないことが大きな問題だと感じました。農業労働生産性が低く、エネルギーはパイプライン輸出の都合上雇用には寄与していませんでした。そして、高等教育を修めても職にありつけないという話は強く胸に刺さりました。その一方で、ホームビジット含む人々との交流や現地での暮らしを通して、彼らのバイタリティーや家族の連帯感を目の当たりにしました。私たち日本人と単に生活水準を比較するのではなく、人々の幸せや生きがいの醸成には何が重要なのかと見習い、考えるべき点が多いと思いました。また、大学交流では、往路の飛行機内で覚えたテトゥン語を使って、大学交流時に挨拶をした時、東ティモールの学生が大変喜び、とてもフレンドリーで盛り上がりました。日本のソーラン節を披露した後、現地の民族衣装を着せてもらったり、ダンスを教えてもらったりして、東ティモールの文化を体験することもでき、大変素晴らしい思い出ができました。

## 5. 受入れ側の感想（抜粋）

#### 大学生（国立東ティモール大学（UNTL））

JENESYSの日本人学生の皆さんから日本の文化や環境など多くのことを学ぶ機会を持たたことに感謝いたします。派遣団の皆さんはとてもフレンドリーで日本の踊りや言葉を教えてくれました。日本の文化や社会についてもっと多くのことを学び、美しい国日本を訪れたいと思います。

#### 大学生（国立東ティモール大学（UNTL））

今回の学校交流を体験して、いつか必ず日本に行きたいと思いました。派遣団の皆さんが説明して下さった大学のカリキュラム、伝統的な衣装、和食などすべてを好きになりました。日本の文化は東ティモールの文化とは大きく異なることを知り、私も自分たちの文化を紹介したいと感じました。学校で学ぶことだけでなく、今回のようにお互いの文化やアイデンティティについて情報を交換することからも学べると思うからです。

#### 大学生・ホストファミリー（ディリ工科大学（DIT））

日本の学生の皆さんに会えた時、本当に嬉しかったです。我が家を訪れてくれてありが

とう。私の家族と一緒に時間を過ごし、これまでにない経験をしてもらえていたら嬉しいです。家族を代表して、皆さんが無事に帰国し、また東ティモールに来て、会いえることを願っています。

### 受入れ大学関係者

昨年に続き、本年も本大学で JENESYS の学生を受入れることができ、大変うれしく思います。将来リーダーになる学生達が、お互いを知り、友情をはぐくむとともに、世界に目を向けることができるこうした交流は、大変貴重な機会だと思います。こうした素晴らしいプログラムをしている日本の皆さんに感謝しています、そして、是非今後もこの事業を続けていただけることを願っています。

## 6 . 参加者の対外発信 (抜粋)

	
<p>3日目、東ティモールの産業や歴史、文化について理解を深めました。訪れたのはJICA、観光ホスピタリティ学校などです。JICAでは、現在の東ティモールが抱える課題について経済の観点から教えていただきました。東ティモールの経済は石油とガスの輸出によって支えられており、新たな産業の可能性や若者の産業参加率の推進、国内製品の競争力強化などについて議論しました。JICAの皆様、ありがとうございました。観光ホスピタリティー学校では、青年海外協力隊(JOCV)の授業に参加し、ホテルでの電話業務を英語とテトゥン語で勉強することを体験しました。学校訪問時、伝統的な衣装や踊りで盛大に迎えてくれて、とても心温まる時間でした。</p>	<p>今日、ホームビジットで4グループに分かれてDIT大学の学生の家庭へ訪問しました。私の家族とは、まず一番大きいマーケットに行き、野菜やコーヒー豆などを買いました。家までは公共交通機関の乗り合いバスを使って行きました。エアコンがないとこんなに暑いのかと実感いたしました。ご家庭では、先ほど買った野菜やお米を使って料理をし、コーヒー豆を焙煎し、フルーツを切り、沢山のおもてなしを受け、とてもお腹がいっぱいになりました。折り紙で一緒に遊んだり、ダンスを一緒に踊ったりして交流をしました。ここでの暮らしはとてもゆっくりと時間が流れており、家族や親族の絆が強く団結しているなあと感じました。</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	<p><b>【秋田大学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高校を訪問し、JENESYS 及び東ティモールについて紹介します。その際、千羽鶴を折ってもらい、東ティモールに送ります。</li> <li>・大学内で本プログラムの成果につき発表します。</li> <li>・秋田テレビを通じてプログラムの参加体験や自分たちの活動について発信します。</li> </ul>
<p><b>HOW</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Make some posters</li> <li>・ Exhibition</li> <li>・ Talk about experience of JENESYS</li> </ul> 	<p><b>【北海道教育大学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生歓迎会での PR を実施します。</li> <li>・ 函館の大学生・地域の人を巻き込んだワークショップを実施します。</li> <li>・ Facebook コミュニティを立ち上げます。</li> </ul>
<p><b>Our Action Plan</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Collaborate with Ookuma school</li> </ul>  <p><b>Timor Leste Culture Night</b></p> 	<p><b>【早稲田大学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大隈塾で、プログラムの成果につき報告会を実施します。</li> <li>・ 東ティモールナイトを開催し、東ティモールのダンスや料理を紹介します。</li> </ul>

## 8. 現地報道

	<p><b>Timor Post</b> (2019/2/22) 東ティモール外務研修所への表敬の様様</p>
	<p><b>東ティモール国営放送「RTTL」(2019/2/25) 国立東ティモール大学(UNTL)での交流及びJENESYS 交流歓迎、冒頭開会式の様様</b></p>

